【医学部】（医学科）

学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜		
医学科	前期日程	国	『国語』	必須	数	『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』	必須	約5倍
	後期日程	地歴 公民	(『世B』, 『日B』, 『地理B』) (『現社』, 『倫』, 『政経』, 『倫・政経』)	から1科目	理	(『物基・物』, 『化基・化』, 『生基・生』)	から2科目	
		数	『数Ⅰ・数A』	必須	外	『英語』	必須	
		理	(『数Ⅱ・数B』, 『簿・会』, 『情報』) (『物』, 『化』, 『生』)	から1科目 から2科目	その他	面接	(3教科4科目)	
		外	(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』)	から1科目 〔5教科7科目〕	その他	小論文 面接		

(注)【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数A』・・・1科目, 『簿・会』・・・1科目)
- 地歴及び公民について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、個別学力検査等を受験することができませんので、注意してください。
- 『簿記・会計』, 『情報関係基礎』は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』・・・1科目, 『物基・物』・・・1科目)
- 数学
「数Ⅰ」, 「数Ⅱ」, 「数Ⅲ」, 「数A」, 「数B」の5科目を合わせた範囲から出題します。
「数A」は(場合の数と確率), (図形の性質)を, 「数B」は(数列), (ベクトル)を出題範囲とします。
ただし、中学校数学, あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。
- 理科
『物基・物』は, 「物理基礎」と「物理」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は, 「化学基礎」と「化学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『生基・生』は, 「生物基礎」と「生物」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
- 外国語『英語』 「コミュニケーション英語Ⅰ」, 「コミュニケーション英語Ⅱ」, 「コミュニケーション英語Ⅲ」, 「英語表現Ⅰ」, 「英語表現Ⅱ」の5科目を合わせた範囲から出題します。
- 小論文
出題は、英語による問題(小論文Ⅰ)と日本語による理科系の論述式問題(小論文Ⅱ)とします。

【大学入試センター試験の配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 《前期日程》外国語で『英語』を選択した場合の配点は、筆記「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、筆記「200点」とします。
《後期日程》外国語で『英語』を選択した場合の配点は、筆記「240点」、リスニング「60点」の計「300点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、筆記「300点」とします。

大学入試センター試験の配点等													
学科等名	選択パターン	学力検査等の区分	国語	地歴 公民	数学		理科		外国語	配点 合計	成績の利用方法等		
					①	②	①	②					
医学科		前期日程	200	100 (1科目)	100	100	/	/	100	100	200	900	地歴、公民で指定した科目から2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
		後期日程	200	100 (1科目)	150	150	/	/	150	150	300	1200	

【個別学力検査等の配点等】

個別学力検査等の配点等							
学科等名	学力検査等の区分	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点 合計
医学科	前期日程	200	200	200		100	700
	後期日程				200	100	300